

# 聖

# 剣

# NTR

クズな勇者に  
すべてを奪われる話



宿泊かい？

ああ

二名で頼む

む…

お客様

お連れの方は  
どちらに？

ああ……

いじめる

なんだあれは…!?

急に女の子が!?

ボクッ

アッ……

なんだ—!?

ホワ...

剣から女の子が!?

あなたは  
もしかや  
剣聖様...?

ふふ...

そんな風に  
呼ばれてるな

ということとは

あの美女が  
噂の聖剣の精霊  
なのか

リユレイ様……

人のいる前で  
実体化は  
恥ずかしい  
です……

悪かった  
戻っていいぞ  
シオネ

はい……

フウ……

あいつが剣聖……

例の勇者  
より強いらしい

ザワ……

あれが  
百の魔獣を倒し  
千の竜を屠って  
作ったという剣……

なんて  
オーラだ……!!

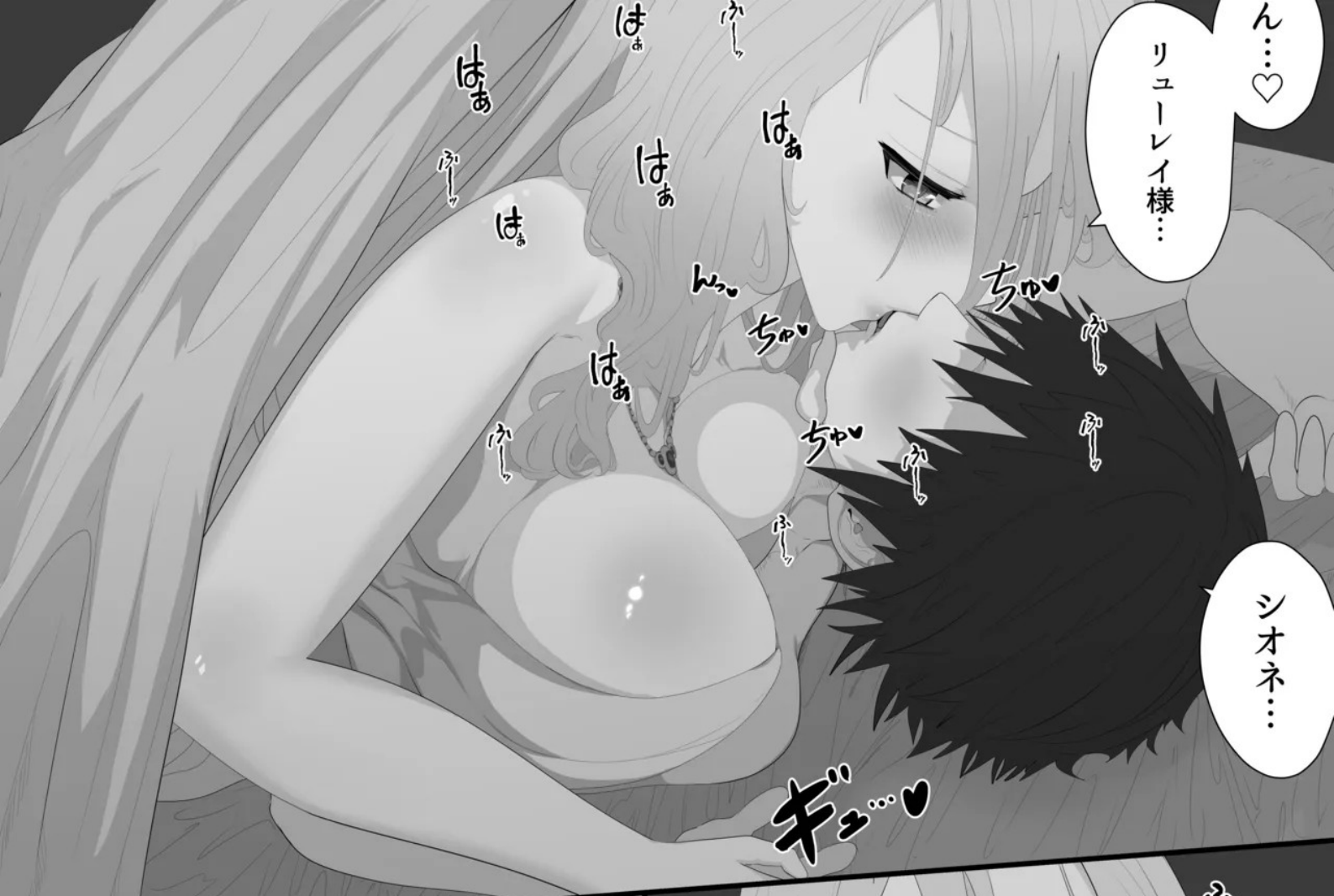
ガヤガヤ

ガヤガヤ

やれやれ……  
目立ちすぎたな

カワ……





ん...♡  
リユレーイ様...

シオネ...

ギョ...♡



ちゅ♡

ちゅ...♡



はぁ

はぁ

ふーッ

はぁ

はぁ

ふーッ

はぁ

ふーッ







おはよう

ゆうべはおた

ギギギ



そうだ



この街に  
剣聖が来ている  
と聞いたが……

あんたが  
そうか？

オレは勇者だ



あんたに  
頼みたいことが  
あつてきた……

お願いだ……!!



その剣を  
オレに貸してほしい!!

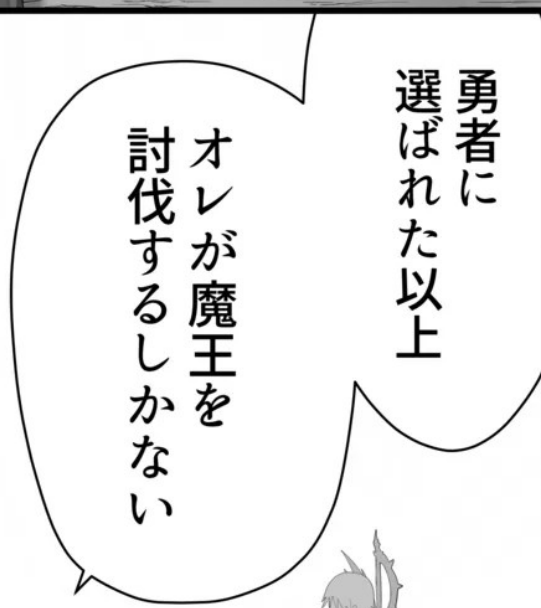
お前……

自分が  
何言ってるか  
わかってる  
のか？



勇者に  
選ばれた以上

オレが魔王を  
討伐するしかない



ムチャクチャ  
なこと  
言ってるのは  
わかってる



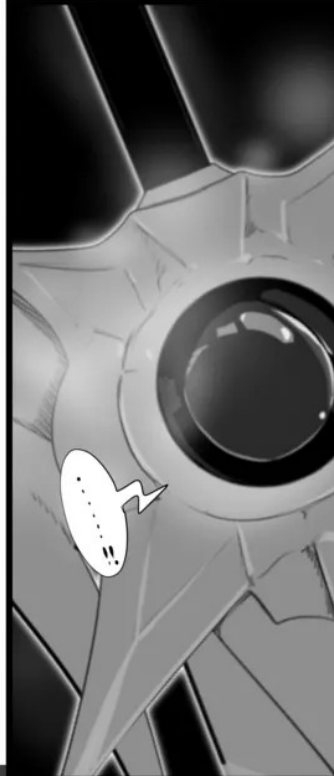
だけど  
魔王を討つには  
強い武器が  
必要だ

時間が  
ないんだ

どうか  
あんたの力を  
貸して  
くれないか



.....  
お前は  
いいのか？  
シオネ



リユーレイ様以外と  
旅するのは  
少し怖いですが...



世界を  
救うため  
という  
のならば...

ホワ...

わかった...



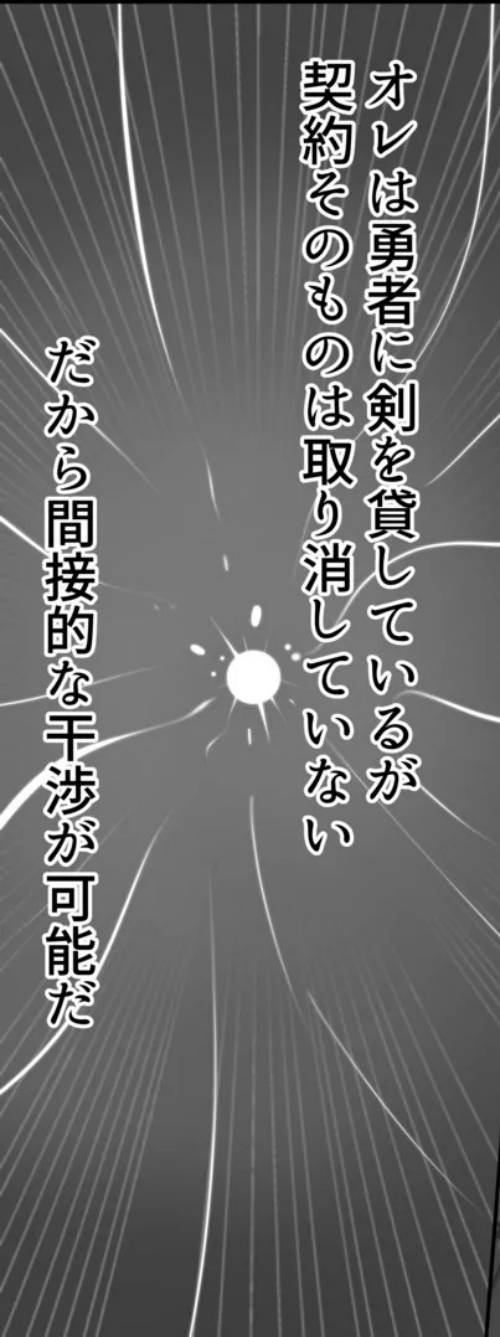


シオネがいなくなつて三日……  
やっぱり恋しく感じる



根負けしたオレは  
剣を貸した

もじもじ



オレは勇者に剣を貸しているが  
契約そのものは取り消していない

だから間接的な干渉が可能だ



人の心を覗く  
のつていやだから  
あんまりやつて  
こなかつたけど……

パス繋ぐか……

ちよつと  
心配だし……



!?



シオネ...!?



なんだこれ...!?



あ…

勇者様あ…

は…は…は…

は…は…は…

は…は…は…

は…は…は…

は…は…は…

は…は…は…

たゆむ

たゆむ

ドク!

ドク!

おっ♡

おっ♡

おっ♡

いけません  
こんなこと…!!

うっ

ぬちゅ♡

ぬちゅ♡

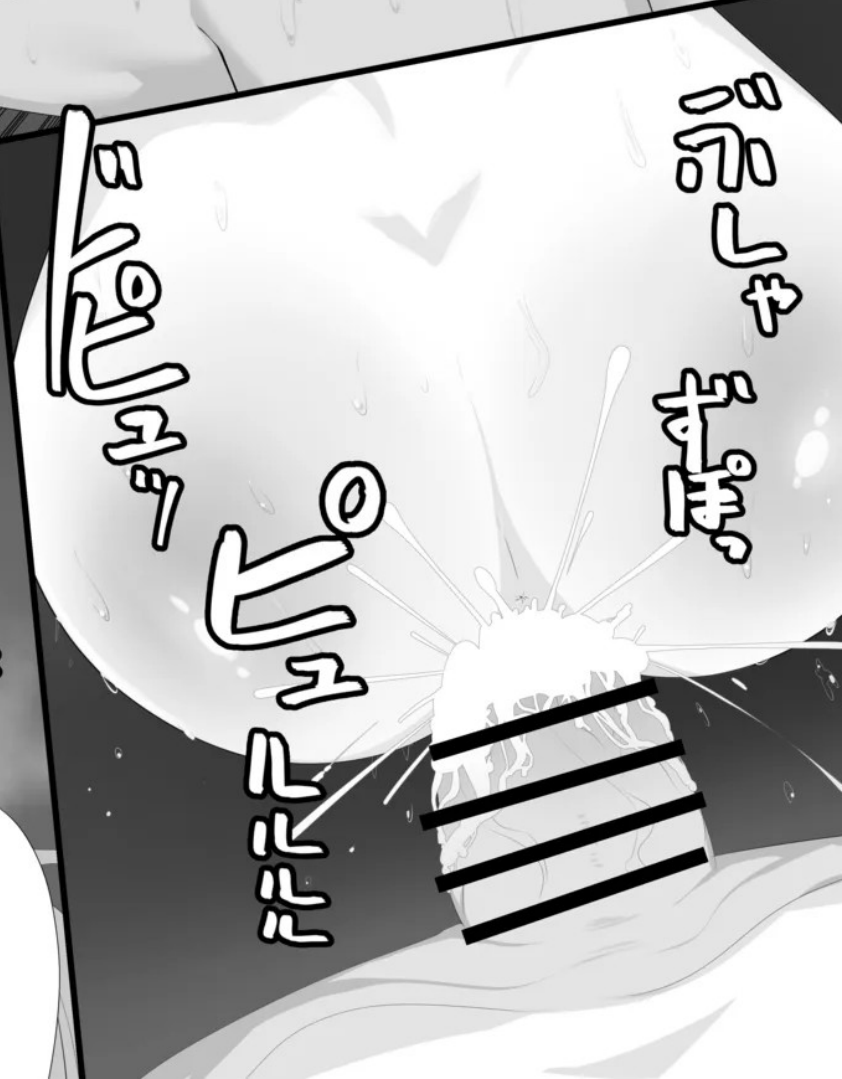
ぬちゅ♡











すっしり量...

グニョ♡

グニョ♡

♡

グニョニョニョ♡

グニョ

グニョ♡

グニョ♡

♡

は...!

は...!

は...!

は...!

は...!

は...!

は...!

は...!

サササ.....

一週間後……

ガァ  
ガァ  
ガァ  
ガァ  
ガァ  
ガァ  
ガァ  
ガァ

勇者は  
魔王討伐を達成し  
帰還した

ガァ  
ガァ  
ガァ  
ガァ

此度の遠征  
ご苦労であった

見事なり  
勇者よ

うつつ  
うつつ

あざっす

聖剣の精霊

そして剣聖も  
力添え感謝する

いやあ  
この子がいた  
おかげっす

……

それじゃあ無事に  
旅も終わった  
ようだし

剣を返して  
もらおうか

あ……

ワリイ  
んだけど

もうちよつと  
貸してもらえね？

な……!!

まだ  
魔王軍の残党が  
あちこちに  
散らばってる

あいつらを  
片付けないと  
いけねエ

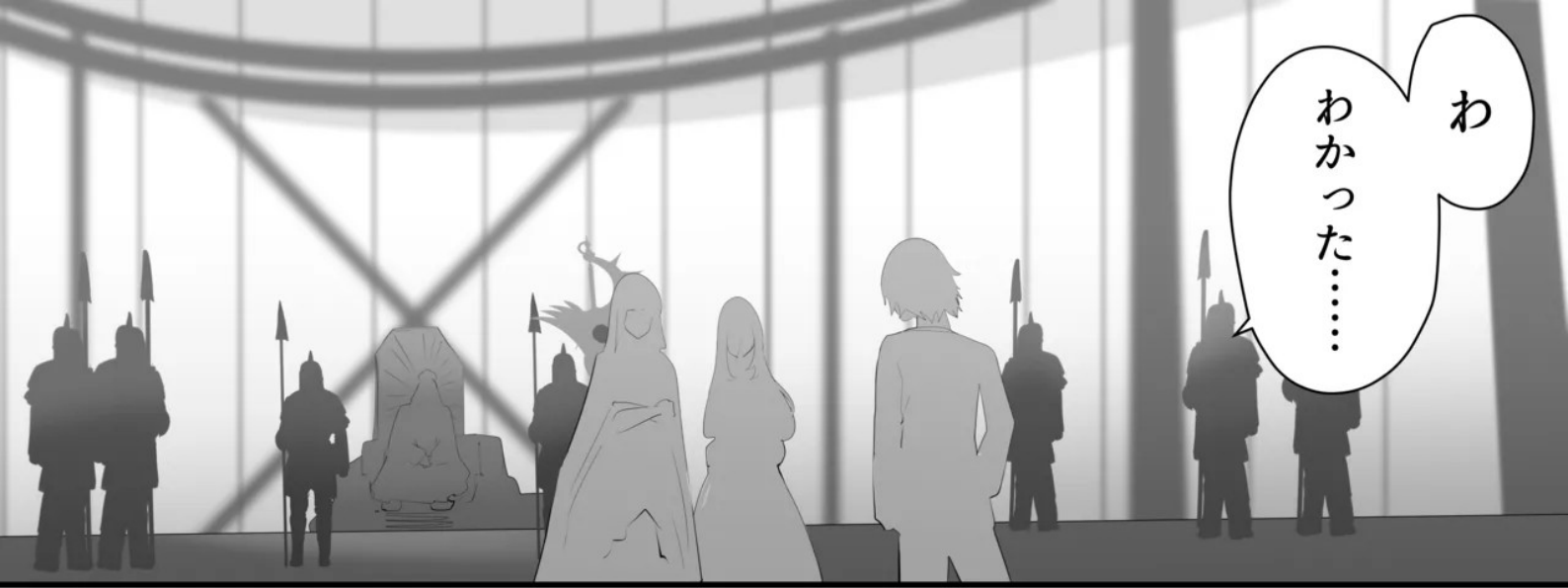
そういう事情なら  
致し方あるまい

剣聖殿  
もう少し彼に  
力を貸して  
やっては  
くれまいか

リユーレイ様……

さすが王様っ!!  
話がわかるウ!!

……!!



わ  
わかった……



勇者様あ♡



結局……







.....??

なんですか  
それ.....?



今日はコレを  
使って  
みようと思う



グ  
グ  
グ

フ  
フ  
フ



動いてる...

一体それを  
どうするん  
ですか...?



魔法道具  
らしい  
知り合いの魔女に  
譲って  
もらったんだ

チ  
チ  
チ





何やってんだ……!!  
お前ら……!!

勇者様…

こんなこと続けたら  
リユレイ様に  
合わせる顔が  
ありません…

ま

気にするなよ

ズッ!!

ズッ

お前も  
楽しんでるんだろ

!!



どしん!!

ががが!!

どしん!!

.....  
!!

ドム

びゅん

びゅん

びゅん

びん びん

どし...

どしん

どしん

何を……

やっているんだ  
オレは………

ギャ……

パスが少しずつ  
弱くなってきている

シオネ……!!

あんなことされて  
剣の調子が  
悪くなったら  
大変だ……!!

一刻も早く  
取り返さないと……!!

見つけたぞ

ザッ  
ザッ

よう  
勇者さんよ

残党狩りは  
順調か？

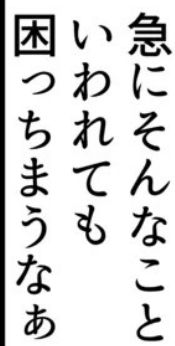
リユレイ様…!?

んん…


なんで  
こんなところに

ずいぶんと  
お楽しみな  
ようだな

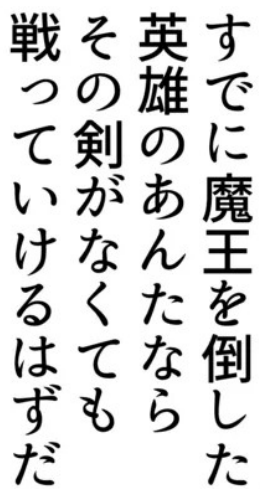
そろそろ  
剣を返して  
もらおうぞ



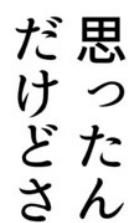
急にそんなこと  
いわれても  
困っちゃうなあ



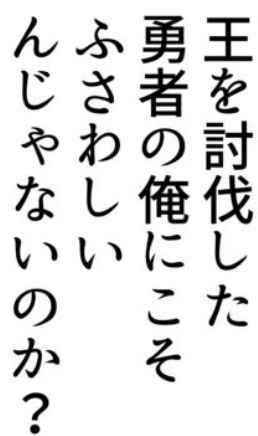
オイオイ  
剣の持ち主は  
オレだぞ



すでに魔王を倒した  
英雄のあんたなら  
その剣がなくても  
戦っていけるはずだ




思ったん  
だけどさ



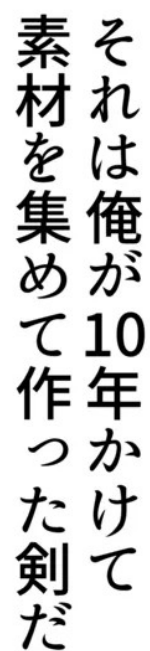
王を討伐した  
勇者の俺にこそ  
ふさわしい  
んじゃないのか？



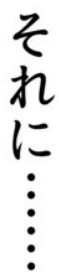
聖剣つてのはよオ



面白くない  
冗談だな



それは俺が10年かけて  
素材を集めて作った剣だ



それに……

お前らが  
何をしてるのかは  
分かってる……!!

いい加減にしろ  
勇者……!!

……!!

は？

どういう  
ことだ？

やってる  
んだろ!!

コイツと……!!

は？

どうして  
知ってるんだ？

精霊の剣の所有者は  
パスを通じて  
お互いの状況を  
確認できる

旅の間お前たちが  
やってるのは  
全部わかってた……!!



なんだそれ  
気持ちワリーな

でも今まで何も  
言わなかったことは  
認めてたって  
ことだろ？

お前が魔王を  
倒す旅をしていたから  
仕方なく  
見過ごしていたんだ

だけど既に  
旅は終わっているはずだ  
今のお前は  
残党なんて狩らずに  
爛れた生活をし  
不貞行為を  
しているだけ…

いくらお前が  
世界を救った  
英雄だからといって  
これ以上は許さない!!

オレの剣  
返してもらおうぞ!!

「!!」



...!!

グッ

やる気か...!!

おっ!!



この最強の剣を  
もってしても  
互角なのか



さすがにつえーぜ

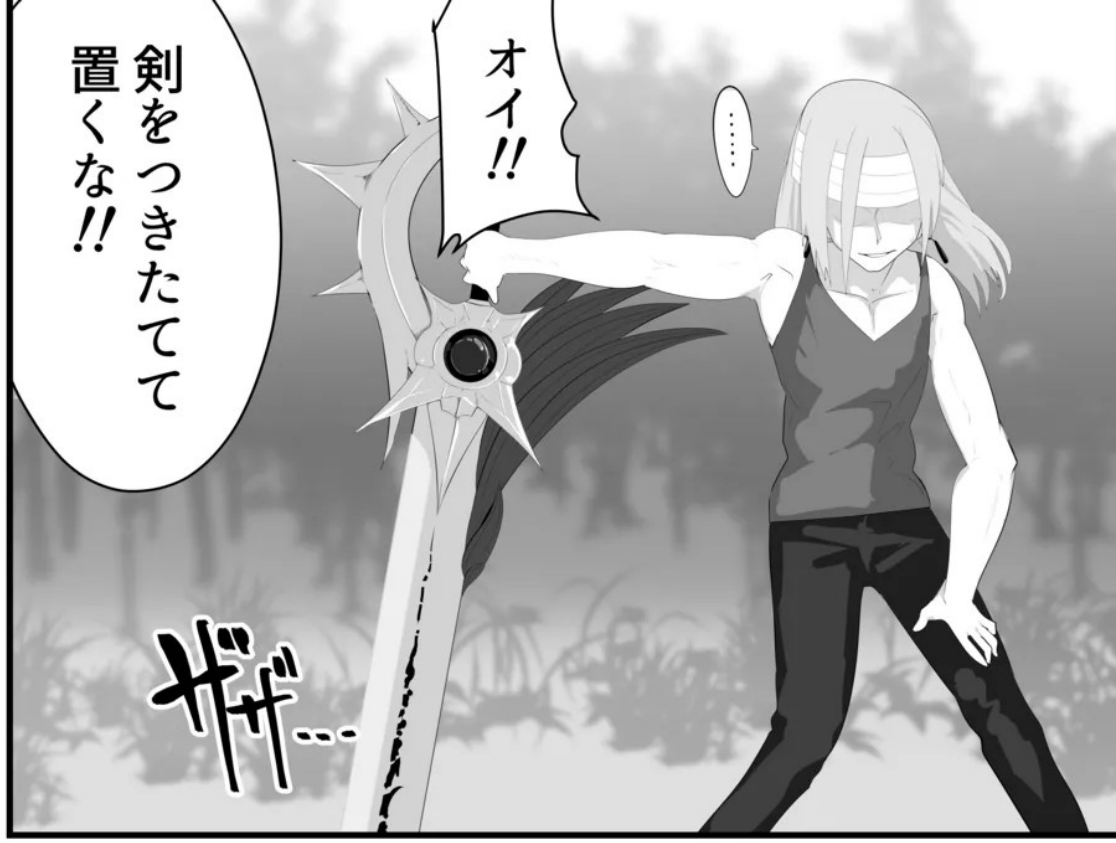
なら…



わっ



……降参か？



オイ!!

剣をつきたたてて置くな!!

ザガ...



実体化だ

この野郎!!

ド外道が!!

ハハハ...

……!!

目を覚ませ  
シオネ!!

何故ソイツの  
味方をする!?

人から武器を  
借りていてその相手を  
始末しようとする  
勇者がどこにいる!!  
ソイツと一緒にいても  
不幸になるだけだ!!

確かに勇者様は  
粗暴なところが  
あります

んっ…♡

ごも…♡

♡ちゅ♡

♡ちゅ♡

♡ちゅ♡

私の身と心を  
満たしてくれたのは

勇者様なんです♡





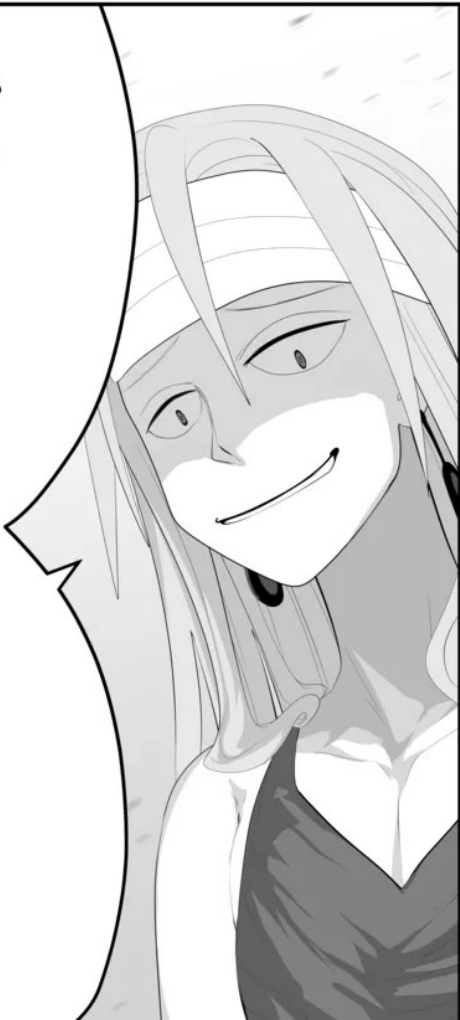
オレは……  
負けたのか……

シオネ……



みる  
勃起してるぜ

くくく……  
そうだな



冥土の土産だ

最後にお前の剣が  
種付けされて  
イクところを  
見せてやる



お前は  
股間の剣でも  
握りしめて  
見てな

ハイッ♡

ズズズ.....

は.....♡  
♡  
♡  
は.....♡  
♡  
は.....♡  
♡

は♡  
♡  
は♡  
♡







こんな風には  
いかないだろ!?

ククク…  
お前じゃあ

シオネ……





あゝあゝ  
あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ





あー

あー

あー

ぐわー!!

ぐわー!!

はー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー  
いつちまい  
やがったぜ

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

お？

なんだなんだ

とろ...

こいつ  
シコってるぞ

ギャー

今際の際  
だったのによ

ならもつと  
見せつけて  
やるよ

///

くぼっ

よオし...



ちやうんと  
見とけよ



ちやう...  
んちやう...



なあ  
剣聖さんよオ

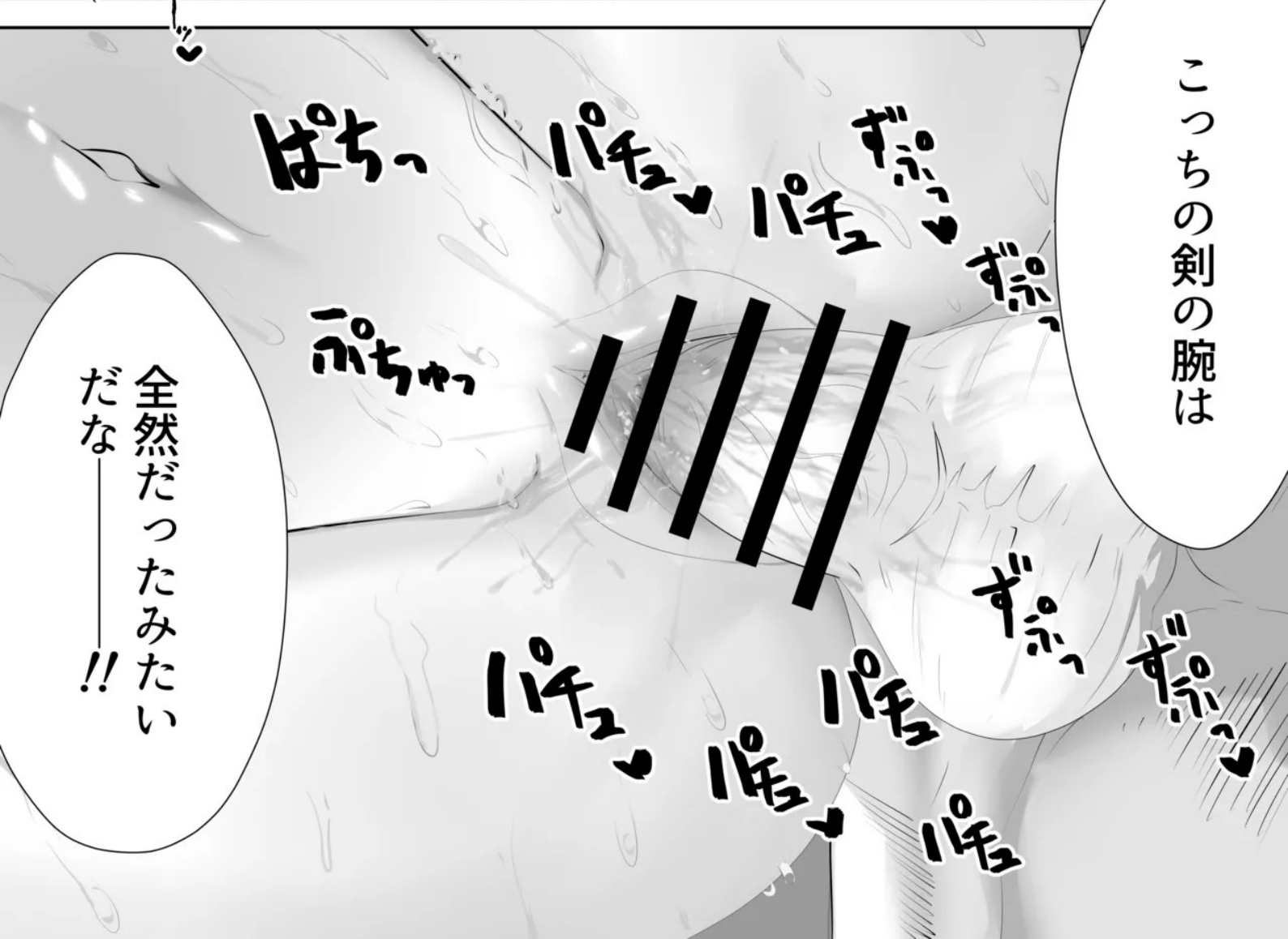


アンの腕は  
剣の腕は  
すごかったよ

世界でも  
五指に入る  
レベルだ



だが



こっちの腕の腕は

全然だったみたい  
だな——!!







ッ!!

シコリながら逃げや!!



!!  
クク!!

!!  
クク!!





リユレーイ様…

もう  
死んでる

勃起したまま  
息絶えてやがる

ククク…

なさけねえ  
滑稽な死に様だ

ドゥ…  
ドゥ…  
ビュル…  
ビュル…

じわ…



あぁっ♡

!!



んんん...



Handwritten text in a stylized, cursive script, possibly a name or a title, located below the glowing object.

Handwritten text in a stylized, cursive script, similar to the one on the left, located to the right of the glowing object.

Handwritten text in a stylized, cursive script, located in the lower right quadrant of the image.



勇者は  
魔王に唆されて  
力に溺れた  
剣聖を倒しました

そして、囚われていた  
精霊を助け出しました

その後二人は  
結ばれて

幸せに  
暮らしましたとさ

あなたは  
この話好きねえ

うん!!

だって私たちの  
ご先祖様の  
お話だもん!!

Fin